

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	カナダ バンクーバー
滞在都市 (☆)	バンクーバー
留学先大学等名 (☆)	The University of British Columbia
留学先での所属学部/研究科 (☆)	Sauder school of Business
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2016年9月4日
渡航先からの出国日 (☆)	2017年4月26日
渡航先国での滞在期間 (☆)	約8か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	Financial Accounting
履修期間	9月～12月
授業時間 (○分×△回)	80分×25回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	3
履修科目名称	Introduction to Management Information System
履修期間	9月～12月
授業時間 (○分×△回)	80分×25回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	3
履修科目名称	International Macro and Finance
履修期間	1月～4月
授業時間 (○分×△回)	80分×25回
授業形態 (講義・セミナー)	セミナー
取得単位数	3
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	5%
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	試験、レポート、出席等
履修科目の制限等（あれば）	2学期間の合計で10クラス
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	

語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	特に受けていない
授業内での留学生に対するサポート等	特になし(必要であれば相談できる)
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	食堂のようなものはなく、フードコートのような形 Asianfood 中心のビレッジというところをよく使った
図書館について	非常に充実している 1am まで開いている図書館もある
保健センター等の有無	分かりません
クラブ・サークル等について	新歓期に案内多数
留学生へのサポート	特に感じない
オリエンテーション等学校主催の行事について	学期前に Imagine Day といういわゆるサーオリのものがある
現地の学生との交流について	積極的にイベントに顔を出せば得られる
他の留学生との交流について	同上
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	Volunteer 活動のほかにも meetup という英会話をする場がいくつかある
長期休暇中の過ごし方	アメリカ旅行
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	Study Permit
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	申請方法は Web で調べられます 約 1 か月ほどで完了しました
利用航空会社	Air Canada
入国の際の現地空港名	YVR
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	タクシー 30 分 バス+電車 1 時間
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	Web で調べられます 簡単でした
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	在留届は online で提出
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	トビタテ！留学 JAPAN
奨学金月額受給額（円）	16 万
入国時に用意した金額	10
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	Life Card (Master Card) 非常に便利で、ポイントで結果 5 万円弱溜まりました
留学中に利用した銀行名	なし
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	なし
デビットカードの使用について	なし
日本からの送金方法について	なし
1ヶ月の生活費（目安）	4 万円
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	Gage という学生寮でした。日本人留学生も多く、情報面では留学早々かなり役立ちました。立地もよいです。
家賃	8 万
住居を探した方法・時期	留学前に先方大学からメールが届く
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	キャリー1つと手提げ1, 2つ
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊はせず、毎日 Asianfood を食べていました
1ヶ月の食費	4 万
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	なし（アプリで電話番号取得可能）
インターネットについて（Wi-Fi 環境等）	バンクーバー市内まで Wi-Fi に困ることはない
コンピュータについて	寮による、UBC のコンピュータは良好
郵便について	Bookstore などで送れる
交通機関について	バスが基本

治安について	良い
保険について	AIUの保険に入っていました
医療機関・薬について	特になし
気候と服装について	基本雨
普段の買い物について	バンクーバー中心部まで行くか食料品は近くで調達
娯楽・行事について	定期的様々な団体が開催
日本語の使用について	日本人留学生も多いので頻度は高い
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	基本的に現地で調達できるのでこれといったものはない
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英語力の強化、これに尽きます
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について(セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	2年次での留学なので特になし
留学中の就職活動について(海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターンシップ等)	情報収集は容易(就活クラブのようなものも現地日本人主導であります)

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTSのテストを受けた、単語力の維持
留学中の学習方法、工夫したこと等	洋画を見たり、現地の学生と話すなど
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか(主観的な実感や具体的なスコア等)	リスニング、スピーキングの面で大きく伸びたが、何より話すという基本姿勢への抵抗がなくなったことが大きい

8. その他

留学して得られたこと	書ききれないほどあります(人生で一番充実した期間でした)
留学中に困ったこと	困ることより悩むことが多い、その分成長します
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	適宜必要に応じて検索していました

9. 留学体験談・エッセイ(様式任意)

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

【留学は全然甘つちよろいもんじゃなかった ～留学を考える後輩たちへ～】

私はそれを留学マインドと呼んでいます。起こったことすべてをポジティブにとらえる姿勢、これが長期留学を乗り切るにあたって非常に大切なことであり、今後の人生に生きてくるのだと実感しました。実体験を交えたほうがいいかもしれませんね。

日本出国日、いきなり待っていた飛行機の欠航。関空まで大荷物で行ったにもかかわらず、機材不良で飛行機が飛ばない事がわかり、留学開始というより開始できない事態が起きました。現地到着は遅れること38時間、早速タクシーに10ドル前後ぼったくられ、夜8時によりやく入寮したものの、夕食と朝食がない、さらに寮にWi-Fiがないことにも気づき、前途多難を見据え涙が出てきました。人って将来が少しも見えないと泣くもんなんだなあと身にしみて感じました。日本でコミュニティづくりもしていない為、現地の友人は1人もいませんでした。日本とも連絡が取れず、寮生は中東系の訛りで会話もうまくいかず、スーツケースの中は日本のにおいがぶんぶんして、余計に辛さがこみ上げてきます。加えて、UBCへの少額送金が日本でうまくいかなかったため、翌日には銀行へ振り込みにいき、食料品店がどこにあるのか、どこが安いのか、バスはどう乗るのか、Wi-Fiはどうするのか、とにかく基本的なことからライフラインを整えていく中で2日目が瞬く間に過ぎました。人生で初めてあそこまで人に頼ったものだと思います。その中で数多くの友人もできたことを思うと、頼ることは大切なんだなあと実感しました。ここまで書いてもたった2日間の事です。これが8か月続くとすると成長曲線が本当にすごいことになりますので、この感覚を皆さんにも味わってもらいたいと心から思います。日々困難に直面し、そのたびに対応策を自分なりに考えなければなりません。海外慣れしていない所謂純ジャパニーズほどその難易度と頻度が高くなります。その過程で悩み、苦しみ、時にはどうしようもなくなり逃げることもありました。しかし、考えてみると、留学しているからこそ味わえていると気づきました。留学しているからこそその醍醐味であると思えた時に、肩の荷が下りたことを思い出します。この留学マインドの大切さを何より先にお伝えしたいと思います。

では、話を戻して、留学決意の理由や現地の生活、授業について書きたいと思います。私が留学を志した理由は2点あります。異国への好奇心とここまで勉強した英語を使いたいというものでした。カナダには多くの国の方々に住んでいて、友達の国籍も決して画一化しません。そしてたいていの方が英語話者である事から素晴らしい環境が整っていました。さらに、アメリカほど物価が高くないことは生活をするうえで非常に大きいと感じます。このような理由でUBCに留学し、現地で授業を受けていました。留学当初の授業では発言内容を理解できず、ディスカッションができるレベルではありませんでしたので、

知識不足を補うべく、予習をして授業に臨みました。後期に履修した国際金融の授業では、日本から見る世界情勢とカナダから見るその違いに面白みがありました。私たちは円とドルを比べますが、彼らはドルとユーロを比べるため、体系化していく学問基礎の部分が新鮮です。このような小さな違いは日本から得られる情報の中には少ないのではないのでしょうか。受験期に匹敵するほどの勉強時間でしたが、それが決して苦にならない環境とサポートがあります。

結局、異国への好奇心と英語力に関してはいまだ私の満足度に達していません。この意味で留学の目標は未達成のまま帰ってきました。異国の文化の一部しかわかりませんでした。英語力は伸びたものの、まだ滞りなく話せるレベルではありません。しかし、日本から出たことで得られた気づき、学問の面白さ、常識が非常識になることから生じる価値観（生活する上での基準のようなもの）の広がりには言葉に表せないほどの財産となりました。学問に限らず、学べば学ぶほど自分が無知であることに気づきました。留学に行くまでの大学生活を恥じるとともに、今後の大学生活、人生に大きなプラスの違いを生み出すことができ、このような環境を整えてくださった大学関係者の方、トビタテ関係者の方に深く感謝しています。